

令和3年度 大妻嵐山中学校・高等学校

新型コロナウイルス感染症に対応した入学試験実施のガイドライン

1. 基本的な考え方

入試はそれぞれの将来の進路を実現させるための大切なステップであり、これまでの努力の成果を試す重要な機会です。全国的に混乱をきたすような爆発的な感染拡大が生じているような場合は別として、本校では、受験機会の確保を図ることが重要であると考え、以下の十分な対策を講じた上で入学試験を実施いたします。

2. 入学試験に向けた感染防止対策について

(1) 試験会場について

試験会場は、大妻嵐山本校と大宮会場(ソニックシティ)の2か所です。大宮会場においては、ソニックシティが定めている感染防止対策を踏まえた使用基準に基づき試験を実施いたします。また、本校会場においては、以下の感染防止対策のもとで試験を実施します。

①収容定員の制限

会議等での使用時における収容定員の7割程度以内とします

②座席間の距離の確保

試験場ごとに大きさや受験者数が異なりますが、座席の配置は1メートル程度の間隔を確保します。

③速乾性アルコール製剤の設置

試験場入口や試験室ごとにアルコール消毒液を配置いたします。

④養護教諭等の配置

発熱等の風邪症状による体調不良の場合に備えて、養護教諭を配置します。

⑤別室の確保

体調不良者のために別室を設けます。別室では、基本的に概ね2メートル以上の間隔で座席を配置します。

⑥試験室の机、椅子の消毒

試験前日に消毒用アルコールを使用した拭き取りを行います。

⑦試験場への入場方法

入場時の混雑を避けるため、入場までの導線を示してご案内いたします。

⑧トイレの使用

トイレ入口に動線を示して間隔をとるとともに本校職員による使用トイレへの誘導を行います。

⑨保護者控室の設置

受験以外の用務がある者の入場は最小限とし、受験生と同等の感染予防を講じることを条件に、保護者控室への入場を認めます。なお、大宮会場においては、保護者控室を設置することができませんのでご了解ください。

(2) 試験当日の対応

①発熱・咳等の症状のある受験生への対応

試験開始前に発熱・咳等の症状がある場合は、受験をお断りさせていただきます。

②無症状の濃厚接触者等*への対応

保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた場合及び過去 2 週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した場合においては、受験をお断りさせていただきます。

③試験途中で体調不良を訴えた受験生への対応

試験途中で体調不良となった場合には、状況に応じて別室での受験とします。また、体調の状況によっては受験の取り止めなどの対応をとらせていただきます。

④感染症の疑いで受験できなかった受験生への対応

個々の状況に応じて個別に対応いたしますので学校にご相談下さい

3. 受験生に対する要請事項

試験場における感染拡大を防止し、受験生自身が安心して受験できる環境を確保していくためにも、以下のことをお願いします。

①自主検温

試験日の 7 日程度前から、朝などに体温測定を行うこととし、体調の変化の有無を確認してください。

②医療機関での受診

試験日の 2 週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。

③マスクの着用について

発熱・咳等の症状の有無にかかわらず、試験場内では、必ずマスクを着用してください。休憩時間など極力他者との接触、会話を控えるようお願いします。

④試験室ごとの手指消毒の実施

試験室への入退出の際には、速乾性アルコール製剤による手指消毒をお願いします。

⑤受験できない者…次の項目に該当する場合は受験を遠慮していただきます。

- ・試験当日に発熱・咳等の症状がある場合
- ・保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた場合
- ・過去 2 週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域から日本に入国した場合

⑥受験の取り止め

試験途中で発熱・咳等の症状が確認された場合は受験を取り止めていただきます。